

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Uプロミッション		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 12日		～ R8年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45人	(回答者数) 42人
○従業者評価実施期間	R8年 2月 12日		～ R8年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自然や観光資源の多い地域環境を生かし、屋外での体験活動も積極的に取り入れています。また保護者の方にもご協力いただき、様々な講師（農業や釣り体験・ズンバなどの運動・アートや料理教室等）となり、保護者の方の強みも生かしていただろう取り組んでいます。その際に保護者交流会を開催して保護者間で、お話を聞かせていただく機会を設けています。	子どもたちに強みがあるように、保護者の方にも強みがあると考え、講師役を務めてもらいイベントを開催しています。その中で保護者交流会を開催し、保護者同士の交流を広げたり、職員とより良い関係を築けるように取り組んでいます。	防災への意識の高まりを受け、ご家族も含めた訓練を開催したいと考えています。防災士の資格を持つ保護者の方と防災活動などの取り組み等も一緒に進めて行けたらと思います。
2	地域の施設や自然を活用した活動を行っています。	地域の体育館や広場、公園などを活用しています。また、地域産業の現場を見学に行くなど、自分達の住む地域の生活という部分の一部を知ってもらう活動に取り組んでいます。	今後は地元の企業などの見学や体験も行っていき、就労などの部分も見据えて、取り組んでいきたいと思います。同時に、地域の魅力を再発見しながら、自分たちの住む場所の魅力を知り、自己肯定感の向上につながればと考えています。
3	体操競技や書道の専門スタッフまた、競技用車椅子の専門スタッフを有して、専門的な技術指導や身体障害者に対する運動アドバイスを提供しています。また保育士資格を有する職員と一緒に子ども達の楽しめる運動プログラムを提供しています。	鉄棒や跳び箱、習字等学校で習うことに対して、事前や事後のアプローチができています。また身体障害者にスポーツ活動の提供やアドバイスをしています。また、保育士資格を生かして、皆が楽しめる運動プログラム等の提供をしています。	体操競技や運動プログラムは継続してアプローチしていきます。また、活動中での運動が余暇活動にも繋がるようプログラムの提案をしていきます。身体障害者のご利用者に対しては、実際の競技団体等の紹介をしていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今後、より子どもたちの「楽しい」に沿ったプログラムの作成や、が必要と考えます。	アンケートにおいて、プログラムの内容についてどちらともいえないという回答も見受けられました。予定表でのお知らせだけでは、具体的なプログラムの目的や内容のお伝えが不十分であったと思います。	プログラムを組む際に、事前にお子さまの意見を聞いたり、発語が少なかったり、発言が苦手なお子さまに対して、好きなものや、やりたいことの情報を集めておくことが必要と考えています。また、プログラム内容に対しての具体的な目的や支援方法を保護者の皆さまにお伝えする機会を増やしていくよう努めてまいります。
2	保護者の方を交えた交流会や研修会等の開催	現在、ご家族の皆さまに参加していただけるようイベントは開催していますが、行っているかわからないと答える方も多く、情報発信の時期や方法が今後の課題と考えています。	長期的な計画を立て、早めに保護者の皆さまに発信できるようにしていきます。また、目的に応じてご参加いただけるような研修会プログラムの提案をしていく必要があると考えています。
3	事故マニュアルや防災マニュアルや、防災訓練などの情報発信等	避難訓練の定期的な実施と、事故・防災マニュアルの作成はしていますが、保護者の方もあることがわからないという方が多く、保護者の方への周知方法が課題と考えます。	防災訓練実施方法や実際の訓練の際には、SNSや広報誌での発信など、より周知できるようにしていきます。また、ご家族の皆さまにより事故・防災マニュアルの周知ができるよう、同様の発信をしていく必要があると考えています。